

11月の健康状況

- ★RSウイルス感染症・・・2名
- ★ヘルパンギーナ・・・2名
- ★胃腸炎・・・・・・・・・・1名

あひる組を中心に発熱のお友達が多くいました。近隣ではインフルエンザの流行もみられています。栄養・睡眠・休養をしっかりとりましょう。

感染性胃腸炎



感染性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスが原因の胃腸炎で、数時間前まで元気だったのに、突然顔色が変わり嘔吐が始まるケースが多く見られます。症状が出てから数時間が一番重く、水分を与えても吐いてしまいます。吐き気が治まるまで様子を見て、顔色が戻ってきたら経口補水液などを少量ずつ与えましょう。下痢の症状は、数日前から出る場合もあれば、嘔吐が始まってから出る場合もあります。嘔吐物や便から感染するケースが多いので、早めの処理と消毒が、集団感染の予防につながります。家族内で感染するケースも多くみられますので注意しましょう。

RSウイルス感染症

毎年、寒い時期に流行る呼吸器感染症です。終生免疫はないため、その後も再感染を繰り返します。生後6ヵ月以下の乳児は重症化して入院する場合もあり特に注意が必要です。

症状が治まるまではご家庭でゆっくり休養をとり、症状が治まってからの登園のご協力をお願い致します。

低温やけどに注意

ホットカーペットや使い捨てカイロに長時間ふれることで起こる「低温やけど」が増えています。痛みを感じにくく、重症化しやすいのが特徴。肌赤くなり子どもが痛がゆく感じたら要注意。

応急処置

痛みが和らぐまで流水で冷やす。最低20分くらいは冷やし続け、その後病院へ。

広範囲のやけどは、冷水でぬらしたシーツなどで全身を覆い、シャワーをかける。その後病院へ。

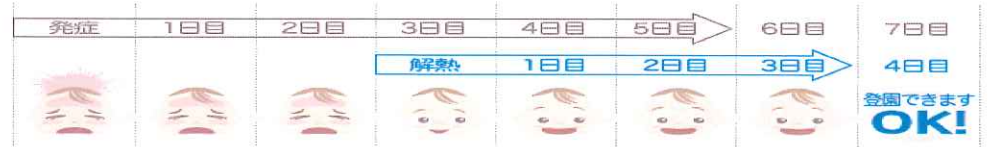


インフルエンザについて

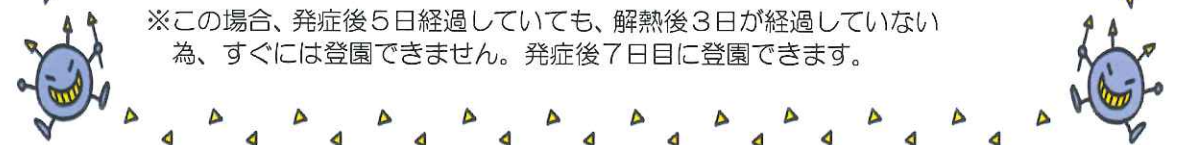
- インフルエンザの登園の目安は、発症した後5日経過し、かつ解熱した後3日経過していることです。日にちを経過し症状が良くなっても、タミフル内服中はお子さまをお預かりできません。
- 保護者・兄弟姉妹・同居家族がインフルエンザに罹った場合、感染予防の観点から園児はお休みしていただくようお願い致します。
- タミフルの予防投与に関しても、副作用などの観点から、お子さまをお預かりはできませんのでよろしくお願い致します。



※この場合、発症後6日目に登園できます。



※この場合、発症後5日経過していても、解熱後3日が経過していない為、すぐには登園できません。発症後7日目に登園できます。



秋冬のスキンケア3か条

秋冬の乾燥した空気は、デリケートな子どもの肌には大敵。放っておくと、かゆかゆ、かさかさになってしまいます。「こまめに、丁寧に」日常的なケアをしてあげてください。

- たっぷり保湿**
保湿剤は、お風呂上がりには必ず塗りましょう。肌に湿り気があるうちに使うと、角質層に水分を閉じ込められるので効果的。
- 清潔を保つ**
顔に汚れなどが付いていたらきれいにふいて。お風呂ではこしこすらず、せっけんを泡立てて優しく洗います。
- 刺激を少なくする**
直接肌にふれる衣類は綿素材がお勧め。ポリエステルなどの合成繊維は静電気を起こしやすいため、皮膚を刺激してかゆみのもとに。

正しい手洗いを

手洗いで予防できる病気はたくさんあります。正しく洗って、健康に過ごしましょう!

せっけんを泡立てて……

- ① 手のひら
- ② 手の甲
- ③ 指の間
- ④ 指先、つまみ
- ⑤ 手首
- ⑥ 洗い流す

指と指の間、指先、手首は洗い残しが多いよ。念入りにね